ま　え　が　き

平成29年度末に、国立登山研修所が独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）へ移管後で初となる研修事業の大幅な見直しを行いました。さらに、栃木県で起きた那須雪崩事故を踏まえた４つの新規研修事業を加え、今年度は、これまでに増して充実した事業展開になるように取り組みました。

参加対象者の拡充等を目的に、見直しを行った研修事業は２つあります。それまでの大学生のみを対象とした「大学生登山リーダー（春山・夏山・冬山）研修会」を一般の登山指導者も参加できるよう「登山リーダー（春山・夏山・冬山）研修会」に、平成３年度に始まった「中高年安全登山指導者講習会」を中高年登山以外の指導者も参加できるようにし、さらに内容の充実を目指して、「安全登山指導者研修会」に名称を変更しました。

新規の研修会としては、高等学校等の登山指導者等を対象とした「高等学校等登山指導者夏山研修会」、「積雪期登山基礎講習会」、「安全登山講師研修会」を開催しました。また、登山研修所のある富山県立山町の地を離れ東京、名古屋、大阪で講義だけの安全登山サテライトセミナーを開催しました。

加えて、那須雪崩事故を踏まえてスポーツ庁に設置された「高校生等の冬山・春山登山の事故防止のための有識者会議」の提言を受けて、高等学校登山指導者テキスト、高校生等登山初心者向け参考資料の作成も行いました。

当研修所は、安全登山ハンドブックの作成やホームページの充実など、各種安全登山情報の発信にも取り組んでいます。このジャーナル「登山研修」も情報提供の大きな柱の一つとして、昭和60年（1985）10月にVol.１を刊行して以来、毎年編集・発行しているもので今回が第34号となります。多くの講師や研究者の皆様などに執筆いただき、他の山岳雑誌にはないジャンルのものとなっており、その内容は研修会講師をはじめ、多くの山岳関係の皆様方から高い評価を得ているところです。

今回も、特集「登山とトレーニング」で様々な方面の方に執筆いただきました。また、登山界の現状と課題、海外登山記録の紹介など最新の調査研究や登山情報が掲載されています。より多くの皆様に読んでいただき、様々な形態の登山活動をより楽しく、より安全に実践していただきたいと思います。

末筆になりましたが、お多用中にもかかわらず玉稿をお寄せいただきました執筆者の方々並びに編集委員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成31年３月

国立登山研修所長　宮　﨑　　豊